

学校教育目標

- ・意欲をもち 自主的に学習する生徒
- ・人と郷土を愛し 進んで奉仕する生徒
- ・健康で はつらつとした生徒



<開式 卒業生>



≪祝卒業式、おめでとうございます≫

3月11日(土)に第76回卒業式を挙行了しました。当日は、感染症対策のため、1, 2年生は各教室でオンラインによる参加でしたが、前日の卒業式予行は1, 2年生も3年生と一緒に会場で行い、雰囲気を感じることができました。

第1部の卒業証書授与式では、担任に呼名され一人ひとりがしっかりと返事をして、卒業証書を受け取りました。すでに涙ぐんでいる生徒も多く、生徒達の3年間の思いが伝わりました。その後、学校長式辞、ご来賓の石崎教育長からの教育委員会告示がありました。また、市からの卒業記念品を代表の阿久津晴捺さんが受け取りました。式はとても厳かで、生徒達の態度や返事から決意や感謝の気持ちが感じられる授与式でした。

第2部のセレモニーでは、在校生の「送ることば」、卒業生の「感謝のことば」を行いました。「送ることば」は、在校生代表の齋藤京子さんが伝えました。「送ることば」の中盤では、各クラスからのビデオメッセージがスクリーンに映し出しました。各クラスの呼びかけや代表生徒による卒業生への感謝や励ましの言葉が伝えられました。卒業生は、スクリーンに映し出された下級生を真剣な眼差しで観ていました。続いて、卒業生代表の阿部月南さんが「感謝のことば」を伝えました。3年生の呼びかけには、国中での行事や部活動そして毎日の学校生活について、熱い思いが込められていました。また、お世話になった先生方への感謝の気持ちや後輩たちへメッセージが伝えられました。セレモニーの中で歌った卒業生による「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」の合唱は、気持ちがこもった素晴らしいハーモニーでセレモニーを忘れられないものにしてくれました。セレモニー終了後、3学年所属の江田晴香先生による「虹」のピアノ演奏でクラスごとに胸を張って退場しました。

最後に送門を行いました。教職員と1, 2年生全員で卒業生と保護者を温かい拍手で送り出しました。天気にも恵まれ、清々しい送門となりました。これからも教職員と生徒、全員で卒業生を見守り続けます。新しい世界を大きく羽ばたいてください。おめでとうございます。



<卒業証書授与>



<学校長式辞>



<教育委員会告示>



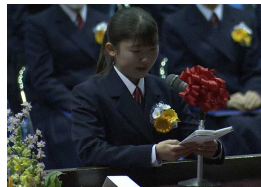
<記念品授与>



<送ることば>



<在校生呼び掛け>



<感謝のことば>



<卒業生合唱>

『学校長式辞』の抜粋

…運動会、合唱コンクール、駅伝大会などの学校行事や委員会活動において、周りの人達とよく協力し、下級生の良き手本となりながら意欲的に練習や活動、準備に取り組む姿が見られました。「学校行事に夢中で取り組む」国分寺中学校の伝統を確実に引継ぎ、下級生に伝えてくれました。特にマスゲームや合唱コンクールでは、協力する楽しさや大切さを体現してくれました。

…人間の能力は、努力し続ける事によって無限に広がると言われています。どんな時も自分自身のもつ無限の可能性を信じ、勇気を持って挑戦するという姿勢を大切にしてください。そして、夢や目標をもち、そこに向かって努力を重ねていき、一層、飛躍することを願っています。国分寺中学校の先生方全員で皆さんを応援し、見守り続けたいと思います。…

それでは、卒業生144名の前途に、必ずや幸多からんことを願い、式辞といたします。

『送ることば』の抜粋 【齋藤京子さん】

…入学してから、部活動や学校行事など多くの場面で私達は先輩方から学び、一番のお手本としてその背中を追い続けてきました。制限された中でも様々な工夫を凝らし、全力で成し遂げる先輩方の姿が目に見えています。…特に印象に残っている事は、運動会での学年を越えた交流の場面です。分からないことが多く、戸惑う私達を笑顔で受け入れ、優しく教えてくださり、先頭に立って引っ張ってくださったことで、自然と私達の不安は消え、先輩方と過ごす時間がかけがえのないものになっていきました。…先輩から学んだ事を胸に良き伝統を引き継げるよう精一杯精進します。

この先、先輩方はそれぞれの夢へと歩んでいかれますが、この国分寺中学校での毎日を心にとめ、これからも大いにご活躍ください。私達は、尊敬する先輩方をいつまでも応援しています。本日は、ご卒業おめでとうございます。

『感謝のことば』の抜粋 【阿部月南さん】

…入学早々の休校。分散登校。マスク着用。先も見えない。仲間にも会えないという、孤独と不安の日々が始まりました。部活動や学校行事が次々と中止になり、未知のウイルスは、私達から大切なものを容赦なく奪っていきました。…それでもただ、何もできずに全てを失ってきたわけではありません。私達は、それ以上に大切なものに気付くことができました。「固い絆」「手を取り合った日々」「先生方のことば」そして、「仲間の笑顔」それらは、マスクで遮られても決して変わる事のない、最高の宝物でした。…

私は自信をもって言うことができます。このような状況でも何事にも全力を注いだ三年間だった、と。そして、三年生全員が充実した学校生活を送ることができたと信じています。明日から私達は新たな道へと進みます。確かな答がなくても、どんなに不安であっても、自分を信じ前を向いて歩んで行く。その決意とともに感謝のことばを贈ります。

《全校集会、3年生の想いを受けて！》

3月14日(火)第1校時に体育館で全校集会と学年集会を行いました。最初に3学年主任の加藤義勝先生から1、2年生に対して、卒業式の会場準備・片付けや清掃そして、感動的だった「送ることば」の感謝と今後の期待が伝えられました。次に生徒指導主事の横山真樹先生より「今日からスタート、全校生徒で毎日の時間を大切に、しっかりと取り組んでいき、素敵な学校にしていこう」と一人ひとりが気持ちを新たに生活していくことについて話をしました。最後に、各学年に分かれ、具体的に頑張っていくことを確認しました。2年生では、「3年生になるために、時を守る、場を清める、礼を正す等、最上級生になる自覚と責任をもって生活しよう」という話がありました。1年生では、「先輩を支え、後輩を引っ張れる存在になろう」という話がありました。



<3学年主任の話>

全ての生徒が自分の事として、真剣に話を聴いていました。今日から、1、2年生ともに3年生や先生方の想いを受けて成長していくことを期待しています。保護者の皆様も引き続き、温かく成長を見守り、支援していただければと思います。

《修了式、目標を立てて進級の準備を！》

3月24日(金)に修了式を行いました。1年生147名(代表:江田琴音さん)、2年生154名(代表:阿部文香さん)に修了証を授与しました。また、下野市からの進級記念品(学用品)を1年生代表の柿沼希々香さんと2年生代表の鉄炮塚晋佑さんに渡しました。生徒代表作文は、1年生の村上とわさんと2年生の安田彩乃さんが1年間を振り返った反省や新学期に向けての決意を発表しました。学校長式辞では、「光陰矢のごとし、毎日を生懸命に過ごす」、「継続は力なり、学びを続ける」2点についてお願いしました。

春休みには、自分自身の事を見つめ直し、心を整理し、しっかりとエネルギーを蓄えて新学年・新学期に備えてもらえればと思います。ご家庭でも進級に向けた準備やご支援をよろしくお願いいたします。

※お知らせ

令和5年度の2年生(現1年生)は、転入生がいますので4クラスから5クラスに変更になる予定です。そのため、令和5年度の普通学級は、1年生4クラス、2年生5クラス、3年生5クラスの予定です。

※休業中の緊急時の連絡について

『生徒が事件や事故に遭った場合』『医師の指示により、お子様や家族の方が陽性者と判断された場合』等、学校職員の勤務時間外(休日を含む)に緊急に連絡をすることがあり、学校(Tel.44-0050)に電話したが、つながらなかった場合には、下野市教育委員会学校教育課(Tel.32-8918)に電話をしてください。その際は、学校教育課職員若しくは警備会社を経由して、本校校長・教頭へ連絡が行くようになっています。また、休業中もLEBERによる体温チェックをお願いいたします。

学校だより「いしずえ」を学校のホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

QRコードをカメラで読み込んでご覧ください。

URL http://www.school.shimotsuke.ed.jp/j_school/kokutyu/index.html

